

2023年2月19日

礼 拜

聖書

創世記26章12～25節

26:12 イサクはその地に種を蒔き、その年に百倍の収穫を見た。【主】は彼を祝福された。26:13 こうして、この人は富み、ますます栄えて、非常に裕福になった。

26:14 彼が羊の群れや牛の群れ、それに多くのしもべを持つようになったので、ペリシテ人は彼をねたんだ。

26:15 それでペリシテ人は、イサクの父アブラハムの時代に父のしもべたちが掘った井戸を、すべてふさいで土で満たした。

26:16 アビメレクはイサクに言った。「さあ、われわれのところから出て行ってほしい。われわれより、はるかに強くなったから。」26:17 イサクはそこを去り、ゲラルの谷間に天幕を張って、そこに住んだ。26:18 イサクは、彼の父アブラハムの時代に掘られて、アブラハムの死後にペリシテ人がふさいだ井戸を掘り返した。イサクは、それらに父がつけていた名と同じ名をつけた。

26:19 イサクのしもべたちがその谷間を掘っているとき、そこに湧き水の井戸を見つけた。26:20 ゲラルの羊飼いたちは「この水はわれわれのものだ」と言って、イサクの羊飼いたちと争った。それで、イサクはその井戸の名をエセクと呼んだ。彼らがイサクと争ったからである。26:21 しもべたちは、もう一つの井戸を掘った。それについても彼らが争ったので、その名をシテナと呼んだ。

26:22 イサクはそこから移って、もう一つの井戸を掘った。その井戸については争いがなかったので、その名をレホボテと呼んだ。そして彼は言った。「今や、【主】は私たちに広い所を与えて、この地で私たちが増えるようにしてくださった。」

26:23 彼はそこからベエル・シェバに上った。

26:24 【主】はその夜、彼に現れて言われた。「わたしは、あなたの父アブラハムの神である。恐れてはならない。わたしがあなたとともにいるからだ。わたしはあなたを祝福し、あなたの子孫を増し加える。わたしのしもべアブラハムのゆえに。」

26:25 イサクはそこに祭壇を築き、【主】の御名を呼び求めた。彼はそこに天幕を張り、イサクのしもべたちは、そこに井戸を掘った。

説 教

平和をつくる人。

(井戸を掘るイサク)

今日は創世記からイサクの生涯、平和をつくる人、
イサクの信仰を学んで行きたいと思います。
日本人のクリスチャンで伊作さんという人も結構います。
井戸を掘ったので井作というのかたもおられます。水
の豊富な日本と違って砂漠気候のイスラエルでは井
戸掘りは大切な仕事。
水をヘブル語でマイム、
水が出て喜ぶときにマイムマイムというダンスを皆で歌
い、日本でも踊っています。

今日登場のイサクはアブラハムの子、ヤコブの父、
個性豊かなアブラハムとヤコブにはさまれて
比較的地味で、目立たない、派手さのない
しかし柔和、平和な主のしもべです。

イサクが最初に聖書に登場するのは
創世記22章、父アブラハムが息子イサク
を全焼のいけにえとして献げなさいと命じられた時、ア
ブラハムは翌朝直ぐにイサクを連れて3日の旅をして、
モリヤの山に着き、
イサクに薪を担わせて山に登り、
イサクを縛って、剣を振り上げ、今にもイサクを献げ、
屠ろうとした時に神様から待ったがかかりました。

22:12 御使いは言われた。「その子に手を下してはならない。その子に何もしてはならない。今わたしは、あなたが神を恐れていることがよく分かった。あなたは、自分の子、自分のひとり子さえ惜しむことがなかった。」

イサクというと第一にこの箇所を思い起こします。

この時イサクは15～20歳くらいの青年、大人になっていました。3日歩いて旅をして、自分を焼き殺すための薪を背中に背負い、モリヤの山に登る体力を持っていました。

老齡の父アブラハムがイサクを縛ろうとする時、父アブラハムを倒して逃げる体力は十分にありました。しかし、従順に父に従い、神様に従って身を委ねていました。

創世記22章のモリヤの山でイサクを献げる試練は
アブラハムの従順の試練であり、
又イサクの従順の試練でもありました。
神様に従順であったアブラハム、イサク、
たとえ神様の使いからのストップがなくても
神様はイサクを復活させる信仰に
アブラハムは至っていました。

イサクは父アブラハムと一緒に
神への従順だけでなく
復活の信仰も学び、生きるようになりました。

肉体の復活信仰だけでなく
極端な苦難に遭っても主は勝利の復活をさせてくださ
る恵の復活信仰に生きるようになりました。
従順と復活の信仰がイサクの人生の根底に流れてい
ました。

イサクにも弱さがありました。
自分にない男らしさのある長男エサウを
偏愛する弱さを持っていました。

飢饉が襲ったとき、ペリシテ人の住んでいるゲラルに移住した。その時、父アブラハムが妻のサラを妹と偽ったように、イサクも妻のリベカを妹とごまかして難を逃れようとしています。

イサクはここでしっかりとこれは私の妻リベカですと積極的に紹介すべきでありました。

信仰は守りの面と攻めの面があります。

自己主張しない、自己主張の出来ない性格は強さにも弱さにもなります。柔和で争わないイサクはアビメレクと問題を起こしたくなかったので妻を妹と偽る弱さを持っていました。アブラハムも同じ失敗を2度もしています。アブラハムはこの失敗から行くところで祭壇を築いて主の御名を呼び求めています。

イサクもこの失敗から25節で祭壇を築き、主の御名を呼び求めて礼拝しています。

私たちにもイサクと同様、弱さや問題があります。主は、弱さのある、問題のある私たちを受け入れ、愛し、赦して、用いてくださいます。

12節から弱いイサクが用いられて行く生涯が書かれています。

26:12 「イサクはその地に種を蒔き、その年に百倍の収穫を見た。【主】は彼を祝福された。

26:13 こうして、この人は富み、ますます栄えて、非常に裕福になった。」

周辺の諸侯がまだ飢饉で苦しんでいる時、前向きに、積極的に種まきをしました。

主はイサクを顧みてくださいました。避難先のゲラルの地で100倍の収穫を得ました。当時豊作でも30倍、それがイサクの畑は100倍の収穫に恵られました。

26:14 彼が羊の群れや牛の群れ、それに多くのしもべを持つようになったので、ペリシテ人は彼をねたんだ。

26:15 それでペリシテ人は、イサクの父アブラハムの時代に父のしもべたちが掘った井戸を、すべてふさいで土で満たした。 26:16 アビメレクはイサクに言った。「さあ、われわれのところから出て行ってほしい。われわれより、はるかに強くなったから。」

イサクは神様から祝福されましたが、
ペリシテ人から嫉まれて
アブラハムのしもべが掘った井戸を土で満たされ、
ここから出て行け、とアビメレクから言われています。
嫉まれ、井戸を埋められ、出て行けと理不尽な
要求を受けています。
でもイサクは争う人ではありません。
柔和、従順、平和の人です。

26:17 イサクはそこを去り、ゲラルの谷間に天幕を張って、そこに住んだ。

26:18 イサクは、彼の父アブラハムの時代に掘られて、アブラハムの死後にペリシテ人がふさいだ井戸を掘り返した。イサクは、それらに父がつけていた名と同じ名をつけた。

26:19 イサクのしもべたちがその谷間を掘っているとき、そこに湧き水の井戸を見つけた。

井戸を掘る、今はボーリングマシンで地下1000Mでも掘って温泉を湧き出させることができますが、イサクの時代の井戸掘りは大変エネルギーのいることでありました。又、地下の水脈にあたらないければ掘っても無駄な労苦という場合も多々あります。主の祝福がイサクにあったので掘った井戸から豊かな水が湧き出てきました。

しかし喜びも平和もつかぬま、
26:20 ゲラルの羊飼いたちは「この水はわれわれのもの
だ」と言って、イサクの羊飼いたちと争った。それで、イサ
クはその井戸の名をエセクと呼んだ。彼らがイサクと
争ったからである。26:21 しもべたちは、もう一つの井
戸を掘った。それについても彼らが争ったので、その名
をシテナと呼んだ。

争わない柔らかなイサクはそこから移ってもう一つの井戸を掘りました。井戸を四つ掘ってペリシテに奪われ、5つめを掘りました。

26:22 イサクはそこから移って、もう一つの井戸を掘った。その井戸については争いがなかったなので、その名をレホボテと呼んだ。そして彼は言った。「今や、【主】は私たちに広い所を与えて、この地で私たちが増えるようにしてくださった。」

主は争わない柔らかなイサクを祝福されました。
レホボテ、広いところを与えてくださいました。
イサクはレホボテからベエルシェバへ移動しました。

26:24 【主】はその夜、彼に現れて言われた。「わたしは、あなたの父アブラハムの神である。恐れてはならない。わたしがあなたとともにいるからだ。わたしはあなたを祝福し、あなたの子孫を増し加える。わたしのしもべアブラハムのゆえに。」

26:25 イサクはそこに祭壇を築き、【主】の御名を呼び求めた。彼はそこに天幕を張り、イサクのしもべたちは、そこに井戸を掘った。

これでめでたしではありません。ペリシテやアビメレクから遠く離れたレホボテ、広い所、又ベエルシェバで平和な生活をしているイサクの所に彼らはしつこくやってきました。26:26 さて、アビメレクがゲラルからイサクのところにやって来た。友人のアフザテと、その軍の長ピコルも一緒であった。26:27 イサクは彼らに言った。「なぜ、あなたがたは私のところに来たのですか。私を憎んで、自分たちのところから私を追い出したのに。」

繁栄しているイサクの所に又、妬みを持ってアビメレクは友人のアフザテ、軍人ピコルを伴ってやってきました。

26:29 私たちがあなたに手出しをせず、ただ良いことだけをして、平和のうちにあなたを送り出したように、あなたも私たちに害を加えないという盟約です。あなたは今、
【主】に祝福されています。」

いままで散々イサクに害を加え、追い出しているのに「平和のうちにあなたを送り出した」とヌケヌケとアビメレクは言っています。

しかしイサクはその挑発にも乗らず、
柔和、平和に徹して

26:30 そこでイサクは彼らのために宴会を催し、食べたり飲んだりした。26:31 翌朝早く、両者は互いに誓いを交わした。イサクは彼らを送り出し、彼らは平和のうちに彼のところから去って行った。

過去にアブラハムの井戸を埋められる、
掘った井戸から水が湧き出るとそれは俺たちのものだ、
と何度も争ってきた過去のあるアビメレクに悪を持って
悪に報いず、善で、愛で報いています。

そのイサクを主が祝福しています。

26:32 ちょうどその日、イサクのしもべたちが帰って来て、自分たちが掘り当てた井戸のことについて告げた。「私どもは水を見つけました。」

26:33 そこでイサクは、その井戸をシブアと呼んだ。それゆえ、その町の名は、今日に至るまで、ベエル・シェバという。

その井戸をシブアと名付けた。

シブアは7と言う意味。

何度も何度も迫害され、いじめられ、苦しめられたイサク、掘っては奪われ、掘っては埋められ、7回も井戸を掘って平和と繁栄を獲得しています。7を70倍するまでゆるしなさいと言われたイエス様に従っているイサクの歩みです。

ローマ書12:18

自分に関することについては、できる限り、すべての人と平和を保ちなさい。

12:19 愛する者たち、自分で復讐してはいけません。神の怒りにゆだねなさい。こう書かれているからです。「復讐はわたしのもの。わたしが報復する。」主はそう言われます。

12:20 次のようにも書かれています。「もしあなたの敵が飢えているなら食べさせ、渴いているなら飲ませよ。なぜなら、こうしてあなたは彼の頭上に燃える炭火を積むことになるからだ。」

12:21 悪に負けてはいけません。むしろ、善をもって悪に打ち勝ちなさい。

悪に負けてはいけません。
むしろ、善をもって悪に打ち勝ちなさい。

こうしてあなたは彼の頭上に燃える炭火を
積むことになるからだ。」

頭上に燃える炭火を積むこととはどんなことでしょうか。

イザヤは自分の心が汚い、
唇が汚れていると叫んだ時、
祭壇の燃えさかる炭がイザヤの口に
触れてきよめています。

イザヤ6:5 私は言った。「ああ、私は滅んでしまう。この私は唇の汚れた者で、唇の汚れた民の間に住んでいる。しかも、万軍の【主】である王をこの目で見たのだから。」

6:6 すると、私のもとにセラフィムのひとりが飛んで来た。その手には、祭壇の上から火ばさみで取った、燃えさかる炭があった。6:7 彼は、私の口にそれを触れさせて言った。「見よ。これがあなたの唇に触れたので、あなたの咎は取り除かれ、あなたの罪も赦された。」

子供の頃、手にとげが刺さるとき、親は針を使ってぬいてくれました。その時、火鉢の炭火に針を近づけてから、とげをぬいてくれました。炭火で針先を殺菌してとげ抜きをしてくれました。

祭壇で子羊を献げていました。祭壇の炭は罪をきよめると象徴的に理解されてきました。祭壇の炭がイザヤの口に触れてイザヤの口はきよめられました。

炭火を頭の上に置くことは、頭の中の汚れた思考、邪悪な思いをきよめると言う象徴的な行為です。

アビメレクのように嫉妬心、悪意に満ちた人には報復したり嫌みを言っても改善はありません。

悪を善でお返しすることは彼の頭にきよめる炭を乗せることになります。

悪に対して善でお返しをすることの他に罪に満ちた相手の思いをきよめる用法はありません。

イサクがイエス様の教え、
パウロの教えを先取りして
言いがかりをつけようとしてきたアビメレクたちを宴会で
もてなし、平和に送り出しています。

イサクは彼らを送り出し、彼らは平和のうちに彼のところから去って行った。

26:32 ちょうどその日、イサクのしもべたちが帰って来て、自分たちが掘り当てた井戸のことについて告げた。「私どもは水を見つけました。」

26:33 そこでイサクは、その井戸をシブアと呼んだ。それゆえ、その町の名は、今日に至るまで、ベエル・シェバという。

マタイ5:9

平和をつくる者は幸いです。その人たちは神の
子どもと呼ばれるからです。

祈り